



浅小HP

あさな い

令和6年11月28日（木）No.21

文責：校長 三洲 龍太

子どもたちに身に付けさせたい「説明力」

11月に入り、本校に、他校の教員が参観する公開授業が二つ行われました。どちらの授業においても、授業者が、子どもたちに「説明力」を身に付けさせたいという思いをもって授業を組み立てていました。授業の概要を紹介します。

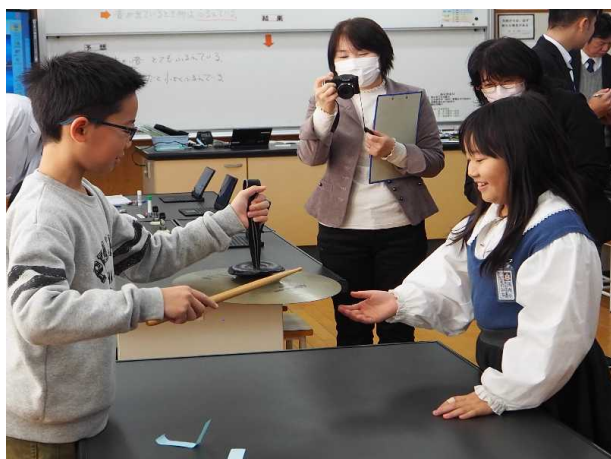
○11/15 5・6松 特別活動



「浅内小学校の誕生会を開こう」という議題で学級会を行いました。何よりもすばらしかったことは、ほとんど教師が介入することなく、司会団が中心となって話し合いを進めることができたことです。話し合いでは、全員が自分の考えをしっかりと発表するとともに、常に話し合いの視点（「みんなが楽しむことができる」「家族の絆が更に深まる」）に沿った進め方ができていたことに驚きました。これらの姿は、今指導されたことではなく、春から自分たちで学級会を運営してきたことの表れだと思います。



話し合いでは、レクの内容や方法について様々な提案がありました。子どもたちは、自分とは違う意見が出されたとしても、うまく折り合いを付けながら話し合い、ほぼ時間内に、誕生会の内容を決定することができました。折り合いを付けるためには、聞き手のことを意識した説明力が重要になります。子どもたちは、計画的な学級会の自発的・自治的な運営により、今後、生きていく上で活用できる大切なことを学ぶことができました。



音の大きさと物の震え方との関係について、太鼓やシンバル等の楽器を鳴らして実験し、その結果を基に、話し合い考察する授業でした。以前もお知らせしたとおり、今年度、本校には、3・4年生の理科の授業に教育専門監が配置され、本校職員と一緒に二人で授業を行っています。最近の報道では、全国的に理科嫌いの子どもが増えてきた傾向があると耳にしていますが、本校の子どもたちは、二人で行う理科の授業を毎週楽しみにしています。

本授業では、友だちと協力しながら、意欲的に実験を行い、「音が大きいときは物の震え方が大きく、音が小さいときは物の震え方が小さいこと」に気付き、みんなで考察することができました。

「説明力」を身に付けることは、大人でも難しいことだと思います。しかし、小学生から毎時間の授業において意識していくことは、子どもたちにとって、今後大きな武器になるとともに、生きる力となります。今後も、一時間一時間の授業を大切に、子どもたちにとって必要な力を身に付けていきたいと思っています。

1月の主な行事

月 日	行 事
13 日 (月)	成人の日
14 日 (火)	3学期始業式、地区子ども会
16 日 (木)	活動委員会
17 日 (金)	読み聞かせ会Ⅸ
21 日 (火)	新入学児童説明会
31 日 (金)	能代南中入学説明会



いよいよ今年も残りわずかとなりました。ロケット団報No.37では、「6年生が選ぶ今年の漢字」を特集しました。ぜひ、ホームページをご覧ください。